

# セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

|   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
| 回 |  |  |  |  |
| 覧 |  |  |  |  |

高等教育活性化シリーズ 122 (通算 382 回)

2008 年 3 月 19 日(水)/24 日(月)

## 学校法人資金運用研修プログラム

# 年金基金に学ぶ、大学法人資金運用のリスク管理のあり方

～ サブプライム・ショックの渦中でも、なぜ年金運用関係者は  
資金運用の職務遂行、説明責任に対処できるのか? ～

年金基金・米国大学基金に学ぶ資金運用ガバナンス/ポートフォリオ運用の実際  
「事業・経営の安定化」と「リスク管理」のバランス/運用管理手法と説明責任

講師

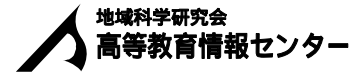
梅本 洋一氏 / (株)リスクマネジメント・ラボラトリー 法人資金運用・管理コンサルタント  
非営利法人資金運用研究会事務局長

竹子 立弥氏 / MFS インベストメント・マネジメント(株) ディレクター  
(財)公益法人協会 公益法人資産運用研究会委員

企画協力 非営利法人資金運用研究会

2008 年 3 月 19 日(水) / 3 月 24 日(月)

天王洲郵船ビル 会議室 (東京・天王洲アイル)



日時: 第 1 回 2008 年 3 月 19 日(水) 10:00 ~ 16:00  
第 2 回 2008 年 3 月 24 日(月) 10:00 ~ 16:00  
同じ内容。ご都合の良い日程をお選び下さい。

定員: 各 20 名

会場: 天王洲郵船ビル 14 階会議室  
東京都品川区東品川 2-2-20 電話 03-5782-8521

アクセス: 東京モノレール・りんかい線  
「天王洲アイル駅」徒歩 3 分  
会場の地図及び受講証を送付しますので  
必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込): 73,500 円(消費税込)  
B. メディア参加(資料・カセットテープ代込):  
74,500 円(送料・消費税込)  
C. 非営利法人資金運用研究会員: 36,750 円

参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた  
方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
FAX または E-mail にてご送付ください。  
支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
郵便振替 00110 - 8 - 81660  
全ての口座名 < (株)地域科学研究会 >  
ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター  
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993  
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から  
受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 122 2008 年 月 日  
年金基金に学ぶ、大学法人資金運用のリスク管理のあり方 3 月 19 日 3 月 24 日 メディア参加

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
|       |         |         |
|       |         |         |

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書 〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

現在そして将来の教育・研究事業・法人経営を安定させることは大学の使命です。その為には資金運用の効率化も重要な経営課題であると考え、大学法人は少なくありません。長引く低金利の影響で、事業・経営のための財務基盤確保には多少リスクのある金融商品の取得に動き出す法人が増加しています。現在では多くの大学法人の資金運用が、従来の預貯金と国債・公債から、仕組み債、債券流動化商品、オルタナティブ他の様々な金融商品へと多様化しております。

一方で、昨今のサブプライム・ショックによる為替・金利・株式の大変動に直面し、このような運用リスクをどのように管理して不測の収入減や値下がり／損失に対処するべきか、『収益確保』と『リスク管理』のバランスに頭を悩ませる法人関係者が急増しております。説明責任の観点からも一層透明性の高い運用管理体制の構築が求められています。

今回は、特別講師として、年金基金関係者の運用ガバナンスの実務経験の豊富な専門家・竹子立弥氏をお招きし、大学法人としての今後の具体的施策について一緒に考えてまいります。

| 時間                  | 講義項目   |
|---------------------|--|
| 10:00<br>～<br>10:50 | <p>なぜ、今の大学資金運用ではリスク管理ができないのか？<br/>(株)リスクマネジメント・ラボラトリー 梅本 洋一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運用益(インカム収入等)をコントロール出来る人は何処に存在するのか？</li> <li>2. 短期的な運用益(インカム収入等)の追求する積極運用(債券等)に陥る大学法人</li> <li>3. 積極運用(債券等)の落とし穴</li> <li>4. 担当事務局による運用管理の限界</li> <li>5. 役員(会)による運用監督・チェックの限界</li> <li>6. それは数字や書面で管理することができるか？</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p> |
| 11:00<br>～<br>13:00 | <p>年金基金・米国大学基金に学ぶ資金運用ガバナンス<br/>MFS インベストメント・マネジメント(株) 竹子 立弥</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. なぜ、年金は仕組債投資をしないのか？</li> <li>2. 企業年金の受託者責任と運用ガバナンス、リスク管理</li> <li>3. 米国大学寄付基金の運用アプローチ</li> <li>4. ポートフォリオ運用の実際</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>  |

## 昼 食

|                     |  |
|---------------------|--|
| 14:00<br>～<br>16:00 | <p>「事業・経営の安定化」と「リスク管理」をバランスさせる運用管理手法<br/>(株)リスクマネジメント・ラボラトリー 梅本 洋一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポートフォリオ(資産構成管理)の考え方</li> <li>2. 第一に、リスク管理ありき(運用収益の源泉を知る)<br/>(積極運用からの脱却)</li> <li>3. 第二に、運用リスクの数値化、事前テスト、周知徹底<br/>(運用リスクの数値による管理)</li> <li>4. 第三に、運用計画の書面化<br/>(事業・経営支出、運用リスク、資産構成についてのルール化。書面で管理/計画)</li> <li>5. (新)運用規程の整備</li> <li>6. (新)運用計画書の準備</li> <li>7. 組織内での問題意識の喚起/議論/対話</li> <li>8. 事例紹介: 運用の計画、実施、報告・評価プロセスの実際</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p> |
|---------------------|--|

梅本洋一氏『大学資金運用とガバナンス危機』が小会 Web の「私論公論」の場にて連載中です。  
ぜひご訪問下さい。 <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkjhp/kkj.htm>

ゲスト講師：竹子立弥(たけし たつや)氏のプロフィール

1957年栃木県生まれ。早稲田大学政経学部卒。日本長期信用銀行にて為替ディーラー・ファンドマネージャーを担当、その後LPL日本証券のチーフストラテジストを経て、現在MFSインベストメント・マネジメント日本法人のディレクター。日本証券アナリスト協会検定会員。